



アートディレクション:吉田ユニ

COVER

「表に出ろいっ!」English version  
"One Green Bottle"

英語上演・イヤホンガイド(日本語吹き替え)付

11月1日(水)~19日(日) シアターイースト

※10月29日(日)・31日(火) プレビュー公演

作・演出:野田秀樹 英語翻案:ウィル・シャープ

出演:キャサリン・ハンター、グリム・プリチャード、野田秀樹

演奏:田中傳左衛門

東京  
芸術  
劇場

Tokyo  
Metropolitan  
Theatre



FLOOR MAP

1F 東京芸術劇場ボックスオフィス

(チケット・総合案内カウンター)  
予約 | 0570-010-296  
お問合せ | (休館日もしくは10:00~19:00)

5F 託児サービス

東京芸術劇場で公演ご鑑賞のお客様のお子様をお預かりします。(要予約)

長谷川サポート株式会社 くらべつたBS課

お問合せ | 0120-415-306  
(平日9:00~17:00)

B2F・B3F 東京芸術劇場駐車場

利用料金 | 300円/30分  
営業時間 | 7:00~24:00  
お問合せ | 03-6914-0019



〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1  
開館時間 | 9:00~22:00 (休館日もしくは)  
お問合せ | 03-5391-2111  
JR、東京メトロ、東武東上線、西武池袋線池袋駅西口より徒歩2分、池袋駅地下通路の2b出口に直結しています。

(東京芸術劇場パートナー協賛企業・団体 ご芳名) 東京芸術劇場の年間事業運営に賛同し、ご支援して下さっている方々です。

- |                     |                     |                      |                        |
|---------------------|---------------------|----------------------|------------------------|
| アサヒグループホールディングス株式会社 | 株式会社ジェイアール東日本ビルディング | 常盤興業株式会社             | 三菱地所株式会社               |
| アサヒグループ食品株式会社       | JXTGホールディングス株式会社    | 凸版印刷三幸会              | 株式会社三菱東京UFJ銀行          |
| 住友生命保険相互会社          | 西武鉄道株式会社            | 西池袋熱供給 株式会社          | ミュージックスタジオ・フォルテ        |
|                     | ソニー銀行株式会社           | 日本生命保険相互会社           | ヤマハサウンドシステム株式会社        |
| Bloomberg L.P.      | 第一生命保険株式会社          | 日本テレビ放送網株式会社         | 有限会社ユーシーベンディング商会       |
|                     | 大和証券株式会社            | 日本電信電話株式会社           | 養老乃瀧株式会社               |
| キッコーマン株式会社          | 株式会社竹中工務店           | びあ株式会社               | 読売新聞東京本社               |
| 株式会社資生堂             | 多摩美術大学              | 東日本旅客鉄道株式会社 池袋駅      | 立教大学                   |
| 住友化学株式会社            | 株式会社帝國ホテル           | フジテック株式会社            | 株式会社ルミネ 池袋店            |
| トヨタ自動車株式会社          | 株式会社TBSテレビ          | 株式会社 フジテレビジョン        | レンゴー株式会社               |
|                     | 株式会社テレビ朝日           | HOTEL URBAN(ホテルアーバン) | 株式会社ローソンHMVエンタテイメント    |
| 株式会社イープラス           | 株式会社テレ・ポーズ          | ホテルメトロポリタン           | 株式会社 WOWOW             |
| ANAホールディングス株式会社     | 東京地下鉄株式会社           | 株式会社 松田平田設計          | 渡邊建設株式会社               |
| オルガノ株式会社            | 株式会社東京ビッグサイト        | 株式会社 松村電機製作所         |                        |
| 香山壽夫建築研究所           | 東京臨海熱供給株式会社         | 丸茂電機株式会社             |                        |
| 国際興業株式会社            | 東武鉄道株式会社            | 株式会社ミクシイ             |                        |
| 三精テクノロジーズ株式会社       | 株式会社東武百貨店           | 三菱重工業株式会社            |                        |
| サントリーホールディングス株式会社   |                     |                      | 他 匿名3法人<br>2017年9月1日現在 |

※東京芸術劇場では、パートナー協賛の申し込みを随時受け付けております。詳細は、公式HPをご覧ください。広報営業係担当まで直接お問合せください。 Tel. 03-5391-2117

芸劇 BUZZ vol.21 2017年10月11・12月号 (編集:発行東京芸術劇場(公益財団法人東京芸術文化財団) (編集:デザイン) COM WORKS (印刷) 株式会社)

平成29年9月25日発行

芸劇 BUZZ

TOKYO METROPOLITAN THEATRE EVENT INFORMATION

vol.21 2017  
10.11.12.



特集・PICKUP

作・演出 野田秀樹  
「表に出ろいっ!」  
English version "One Green Bottle"

演出 シルヴィウ・フルカレーテ  
出演 佐々木蔵之介 ほか  
「リチャード三世」

演出 イヴォ・ヴァン・ホーヴェ  
「オセロー」

芸劇dance イデビアン・クルー  
「肩書ジャンクション」

池袋ウエストゲートパーク SONG & DANCE  
RooTS Vol.05「秘密の花園」  
劇団ヨコレトケーキ

エル・システマ・フェスティバル2017

東京芸術劇場コンサートオペラvol.5  
ピゼー 歌劇「真珠とり」

第8回 音楽大学オーケストラ・フェスティバル  
東京芸術劇場パイオルガン・コンサートVol.22  
聖夜に贈るクリスマス・オラトリオ

芸劇ウインド・オーケストラ・アカデミー アトリウム・コンサート  
東京芸術劇場シアターオペラvol.11 ブッチーニ 歌劇「トスカ」ほか

CALENDAR

10月・11月・12月

大道芸／池袋学

フェスティバル/トーキョー17

東京芸術劇場 芸術監督

野田秀樹 対談

EGO-WRAPPIN' ヴォーカリスト

中納良恵

## 表に出ろいっ! English version “One Green Bottle”

作・演出:野田秀樹  
英語上演・イヤホンガイド(日本語吹き替え)付  
吹き替えキャスト:父/大竹しのぶ 娘/阿部サダヲ 母/野田秀樹

## 目にも耳にも新しい 『表に出ろいっ!』が誕生

伝説の舞台として封印されるかと思われた『表に出ろいっ!』が、国際的な俳優を配し、全編英語で蘇る。新生バージョンの内容を野田秀樹に聞いた。

### 爆笑、のち、恐怖だった初演

2010年、満を持して上演された『表に出ろいっ!』は、公私共に盟友だった十八代目中村勘三郎と野田秀樹が、客席数300に満たない濃密な空間でがっつり四つに組んだ作品だった。熱量ある動きとスリリングなアドリブにも見えるような応酬は、このふたりだからこそと観た誰もが思った。そのわずか2年後に惜しくも勘三郎はこの世を去り、再演は難しいと考えた人も少なくはなかったはず。

「彼にとっても特別な気持ちの芝居になっていたと思います。『70歳ぐらいになつたらまたやろう』と話していましたし、病室にもこの作品のDVDを置いていて、お見舞いに行く看護婦さんに僕を指差して『これ(DVDの妻役)が、これ!』ってやってたり」

と、野田自身も振り返る。

『表に出ろいっ!』は、夫、妻、娘それぞれに、家族には理由を知られたくないものの、どうしても外に出かけたい用事があり、しかし飼犬の出産が間近に迫っていて、誰かが家で世話をしなければならぬという一夜の騒動が描かれる。犬は心配だが自分だけは外出したい3人のやり取りは、嘘や屁理屈、相手の悪口や脅しの応酬へと発展。たまたみ掛けるテンポと、飛び出す言葉の切れ味、ヒートアップして見えてくる本音や弱みが客席の爆笑を生んだ。しかしやはり野田作品のこゝろ、白い壁にうつらうつら見えていたシミが知らぬうちに広がり、気が付くと四方を真っ黒な壁に囲まれている瞬間が待っている。

### 勘三郎のやったことをなぞるのは申し訳ない

そんな作品の再演の決め手になったのは、やはり俳優だった。『THE BEE English version』など、これまで何度も共演してきたキャサリン・ハンターなら託せるのではないかと、野田がイメージしたことで企画が動き出した。ちなみに『THE BEE』でもそうだったように、『表に出ろいっ!』でもキャサリンと野田は役の性別を逆転させ、勘三郎が演じた夫をキャサリン、その妻を野田が演じる。黒木華と太田緑ロランスがダブルキャストで演じた娘は、これまた男性のグリーン・プリチャードが配された。3人はすでにイギリス・ロンドンでのワークショップを重ね、現地の演劇関係者を招いてのショーケースも行った。

「反応はとても良かったです。ロバール・バージュ(フィジカルシアターの世界的演出家)も来てくれて『おもしろかった!』と言っていました。ただ、初演ほどドタバタにはなりません。やはり彼らは理論で動くし、勘三郎がやったこと



アートディレクション:吉田ユエ

をなぞるのは彼にも申し訳ない。英語版ならではの作品になると思います」

実はラストも含め、ストーリーも変更があるという。キャストとのディスカッションを経て、より多くの観客にリアリティが伝わること、初演から時間が経った分、時代に即した展開を考え、戯曲の手直しも行った。

「翻訳をどうしようかと考えている時に、イギリスで注目されているウィル・シャープという、まだ30代前半ですけども才能がある劇作家を紹介された。彼はお母さんが日本人で日本語も少し喋れるし、シェイクスピアなどの古典にも詳しい。直訳ではなく、翻案をお願いしました」

その結果、日本語タイトルはそのままで、英語タイトルは『One Green Bottle』に。これはイギリスの古い数え歌の一節だそうで、なぜこのタイトルかは観てのお楽しみ。衣裳も美術も再考され、耳にも目にも新しい『表に出ろいっ!』が誕生する。せりふはすべて英語だが、字幕なども検討した結果、国内上演は日本語吹き替えのイヤホンガイドを選択した。

「大竹しのぶさんと、阿部サダヲさんにイヤホンガイドの日本語吹き替えをお願いしているのと、きっと良いものになると思います。それにしても、夢の遊戯社時代にエディンバラのフェスティバルに招待され、それがきっかけでロンドンに留学しましたが、招待から30年後に国内外で英語の公演をすることはできていませんでした。歌舞伎も同じで、まさか自分が関わるとは思ってもいなかった。でも、せっかくそういう数奇な運命にあるので(笑)、きっかけをくれたキャサリンや勘三郎との出会いを大事にして、それぞれ全うしたいですね」

豊かな物語世界を貫き、時代を射抜きながらも、ますます拡大していく野田の活動は、同時代を生きる幸運を得た者として、見逃すわけにはいかない。

取材・文:徳永京子

11月1日(水)~11月19日(日) シアターイースト 詳細はP10へ  
※プレビュー公演 10月29日(日)・31日(火)

作・演出:野田秀樹 written and directed by Hideki Noda  
英語翻訳:ウィル・シャープ 演奏:田中傳左衛門  
出演:父/キャサリン・ハンター “Father” Kathryn Hunter  
娘/グリーン・プリチャード “Daughter” Glyn Pritchard  
母/野田秀樹 “Mother” Hideki Noda



キャサリン・ハンター グリーン・プリチャード 野田秀樹 田中傳左衛門

## リチャード三世

作:ウィリアム・シェイクスピア  
演出・上演台本:シルヴィウ・ブルカレーテ

## 怖いけれど愉快的な 王の姿を、一緒に探ろう!

今年の初夏、佐々木蔵之介はルーマニアのシビウ国際演劇祭を訪れ、『リチャード三世』を演出するシルヴィウ・ブルカレーテと、王の魅力を語り合った。

対談の前夜、佐々木蔵之介はシルヴィウ・ブルカレーテ演出作品を初めて生で観賞した。それは屋外の水を張ったプールで、ラドゥ・スタンカ国立劇場の俳優たちが演じる『メタモルフォーゼ』(2007年初演、オウィディウス作『変身物語』に基づく)。ギリシア・ローマ神話の登場人物たちが変身していく同作の印象から、佐々木は話した。

「圧倒されましたね。なんて華い芝居だろう……。そう感じたのは火と水を使うからかな。劇肉祭のような、神々しいものを見せていただいた気がしました」ブルカレーテは笑顔で応じる。

「ありがとうございます。祝祭に通じる空間を目指した私の意図を、しっかり受け止めてくれましたね。戯曲に沿って物語を追う舞台とは違って、『メタモルフォーゼ』は複数のエピソードをつなぎ、言葉では伝えられない人間の本質を導き出す作品です」

「神聖な演劇である一方、俳優が野菜や肉を実際に食べるなかで、ばんばんエネルギーが迫ってくる。その勢いに驚きながら『おれはリチャード三世を、こういうふうにはできない』と思いました(笑)。稽古場には、いったい何がくるのか? 楽しみながらも、不安なような気持ちに包まれました」

「私は頭の中で方針を固める演出家ではありません。俳優のプランも取り入れ、試行錯誤を重ねます。ぜひ、蔵之介の意見も聞かせてほしい」

10月に上演するシェイクスピア作『リチャード三世』(1591年初演)のタイトル・ローレルは、権力を求めて暗躍した15世紀のイングランド王。世界の名優が挑む複雑な人物を、どう佐々木とはらえているのだろう。

「さすがにいいほどの悪党を演じよう、と戯曲を読んだ直後は思いました。感銘を受けるほど、悪いことしかない極端な人間を演じるのは気持ちいいだろう、と予測して……。冷徹なエゴイストですが、共感できる部分もあります」

野望にとりつかれた男の滑稽さも表現したい、と続ける。

「自分を憎む前王妃の娘に求婚したり、リチャードの行動は常識を超えています。でも観客は、彼の言葉には無理がある、と感じながらも笑ってしまうでしょう。そんな場面を、僕も面白がって演じたいですね」



### 男性俳優が演じる女性役にも、新鮮な工夫を凝らす

「蔵之介の言う通り、愉快的シーンも多い芝居です。ユーモアと発想力に富む悪徳の化身は、演劇史上における巨大な記念碑とも呼べる存在。道徳に縛られずに突き進む姿は、見る側をわくわくさせます。リチャードは人々が胸の底に秘めている欲望を目覚めさせる。最後に罰を受けて死ぬ瞬間まで、客席の視線は彼を追わずにいられません」

「たしかに僕が演じるリチャードは観客を挑発するし、劇中の人物を惹きつける力も強い。たとえば、自分が前夫を殺したアンを巧みに口説き、妻にしてみせます。今回の舞台ではアンを男性俳優(手塚とおる)が演じるから、特別な効果が出るかもしれません」

「女性の声や所作のまねとは違う、抽象的ともいえる女性役を演出したい。ほぼオールメー・キャストになったのはオーディションの結果ですが、シェイクスピア時代の英国でも男性俳優が女性役を演じました。歌舞伎と同じように」

ブルカレーテ演出を特徴づけるエロティシズムとグロテスクな要素は、初めて日本の俳優たちを演出する舞台でも発揮されるだろうか。

「女形の官能を保ちつつ、新しい美を誕生させる工夫が鍵かな……。おそらく演出プランを具体化する過程で、日本の言葉も習慣も分からない私は、多様な問題にぶつかるでしょう。対立も含めて、異なる者同士の共同作業が画期的な案を育む、と期待しています。互いを信頼し合い、協力して進みましょう!」

佐々木は身を乗り出して、うなづく。

「今、僕には分からないことが山ほどありますが、稽古場で考えていきます」

「私自身も疑問でいっぱい(笑)。迷いや不明点を探っていく作業こそ、まさに演劇なのです」

取材・文:桂真実(舞踊・演劇評論家)

10月18日(水)~30日(月) プレイハウス 詳細はP10へ  
※プレビュー公演 10月17日(火)

作:ウィリアム・シェイクスピア 翻訳:木下順二  
演出・上演台本:シルヴィウ・ブルカレーテ  
出演:佐々木蔵之介

手塚とおる 今井朋彦 植本純実(植本潤改メ)/  
長谷川朝晴 山中崇/  
山口馬木也 河内大和 土屋佑希 浜田学 櫻井章喜/  
八十田勇一 阿南健治 有蘭芳詞 塚崎晴彦/遊辺美佐子



Photo:Yoshimasa

## オセロー

作:ウィリアム・シェイクスピア  
演出:イヴォ・ヴァン・ホーヴェ  
(日本初演)オランダ語上演・日本語字幕



©Jan Versweyveld

## 世界を席巻する超人氣演出家 ついに東京初登場!

本拠のオランダを始めとするヨーロッパ圏はもちろん、ニューヨークのブロードウェイのように、見客から観客まで幅広い層をターゲットにしたショービジネス界においても、いまや信頼のブランド。ベルギー出身のイヴォ・ヴァン・ホーヴェほど、あまねく世界中で高評価をキープしている演出家はめずらしい。真実を見据えた冷徹な視線で、作品の本質に大胆に肉薄しながら、過激な表現には眉をひそめがちな観客層にも、熱く支持される。理想的な離れ業で世界を味方に付けている、特別な才能の持ち主だ。

「すべての演劇は現代劇であるべき」と言うヴァン・ホーヴェは、「オセロー」においても、現代のヴェニスおよびキプロスとして違和感のない、架空の軍服を調製。それを単なる時代および状況設定のためだけでなく、権力、組織、野心、建前、暴力、(私に対する)公、といった社会的記号として、有効に機能させている。オセロー自身の軍服の扱いや着脱のしかたが、彼の心の内を雄弁に物語っているのだ。また、「人間は生来、他者を排斥しようとするものです。他者=黒人やゲイとは限りませんよ。今あなたの隣にいる人だって他者なのです」と

もヴァン・ホーヴェは言い、差別の絶望的な根深さを浮き彫りにしてみせる。「白いオセロー」と評判になったキャストリングは、その一例といえるだろう。英米の上演ではアフリカ系の俳優が演じ、日本では肌を黒く加工するのが慣例化しているオセロー役。そのいずれもが、この「オセロー」を前にすると、狭隘な固定観念に基づく浅薄な発想に思えてくる。

いたるところで、虚を突くように鮮烈なリアリティが噴き出すイヴォ・ヴァン・ホーヴェの「オセロー」。世界中の賞賛が決して大げさではないことを、この舞台上でしっかりと実感できるはずだ。

取材・文:伊達なつめ(演劇ジャーナリスト)

11月3日(金・祝)~5日(日) 詳細はP11へ  
プレイハウス

作:ウィリアム・シェイクスピア  
演出:イヴォ・ヴァン・ホーヴェ  
出演:トネールグループ・アムステルダム



tokyo-festival.jp  
本プログラムは東京芸術劇場2017の  
一環として開催されます。

## 芸劇dance

### イデビアン・クルー

## 肩書ジャンクション

振付・演出:井手茂太

## 井手茂太率いるイデビアン・クルー 渾身の新作ダンスを見逃すな!

振付家・ダンサー・井手茂太率いるイデビアン・クルーの最新作が満を持して、東京芸術劇場に登場!

イデビアン・クルーの舞台作品には、いつもダンスカンパニーとは思えないような不思議なタイトルがついている。ところが、実際に公演を見ると妙に納得、というか腑に落ちるからこれまた不思議だ。今回の新作タイトルは『肩書ジャンクション』!『肩書ジャンクション』って一体なんだ!?』ということ

で、井手茂太本人に、今回の新作の見どころや構想について聞いた。「肩書」というのは、以前からずっと引っかかっていたキーワードなんです。自分が何者なのかを指し示す何かではあるんだろうけど、もしかすると少しフィクションも入っているかもしれない「肩書」という得体的しれないもの。そしてそれを、縦横無尽に交差する「ジャンクション」と結び付けてみました。言葉の響きもいいし、略すと「JCT」というところも好き(笑)。様々な個性を持ったユニークなダンサー達9人集まり、「肩書」というモチーフを巡り、くんずぼくれた交わりまた離れていく「ジャンクション」的世界...そんなイ

メージを言葉抜きのダンスで表現できたら」  
20年以上に渡り日本のコンテンポラリー・ダンス・シーンを牽引し、野田秀樹や三谷幸喜などの演劇作品での振付や、椎名林檎、星野源ら多くのアーティストMVなども手掛ける井手茂太/イデビアン・クルーの新作にご期待ください!

取材・文:編集部

10月20日(金)~22日(日) 詳細はP10へ  
シアターイースト

振付・演出:井手茂太  
出演:齊藤美音子 菅尾なぎさ 福島彰子  
後藤海春 酒井幸菜 中村達哉  
原田悠 三橋俊平 井手茂太



tokyo-festival.jp  
本プログラムは東京芸術劇場2017の  
一環として開催されます。



## 「池袋ウエストゲートパーク SONG & DANCE」

12月23日(土・祝)~2018年1月14日(日) シアターウエスト

詳細はP14へ



### 池袋発、伝説の小説がついにミュージカル化

東京芸術劇場の正面に隣接する池袋西口公園。そこに集う若者たちの青春群像を描いた、石田衣良の代表作「池袋ウエストゲートパーク」は2000年にはTVドラマ化もされ社会現象となった。その伝説の小説が、今年の12月に初めてミュージカル化される。主人公のマコト(真島誠)役には池袋と馴染みが深い立教大学出身の新進気鋭の俳優、大野拓朗。物語のハイライトでは公募を勝ち抜いたダンサーたちの「ダンスバトル」も組み込まれる。「池袋」発の若者たちのほじける物語を池袋で体感してほしい。

原作:石田衣良(「池袋ウエストゲートパーク」文春文庫刊) 脚本・作詞:柴幸男  
演出:杉原邦生 振付:北尾尾 出演:大野拓朗 矢部昌隆(DISH//) 染谷俊之 ほか

チケット発売:10月14日(土)

## RooTS Vol.05 「秘密の花園」

2018年1月13日(土)~2月4日(日) シアターイースト

詳細はHPへ



寺島しのぶ 柄本佑 田口トモロヲ

### どろどろの曼荼羅のようでわかりやすい。

唐さんがニューヨークで書いた日暮里が舞台のこの芝居について、私はカトマンズのガルバル広場に座ってぼんやりしながら(いけないものをキメていたわけではない)、唾の中のどろどろのスープがルールに則って成虫になるような、複雑な曼荼羅がしかしその複雑さでもって宇宙の真理を整頓して視覚で伝えてくれるような、「秘密の花園」はそんな芝居なのかもなあと思ったことがあった。本当にそうなのか、劇場まで確かめに来て頂きたい。

文:福原充則(「秘密の花園」演出・出演)

作:唐十郎 演出・出演:福原充則  
出演:寺島しのぶ/柄本佑/玉置玲央/川面千晶/三土幸敏/  
福原充則/池田鉄洋/田口トモロヲ ほか

チケット発売:10月21日(土)

## eyes plus 劇団チョコレートケーキ「熱狂」『あの記憶の記録』

12月7日(木)~19日(火) シアターウエスト

詳細はP13へ



### 今だから観ておきたい渾身の2部作

次々と大きな演劇賞を受賞し、社会派劇団の雄にひとつある劇団チョコレートケーキ。その舞台骨を支えるのは座付き作家の古川健だが、古川が繰り返して取り上げているのがナチス問題だ。「熱狂」「あの記憶の記録」はその代表作で、過去にも2度、ひとつの劇場で交互上演された。「熱狂」は若きヒトラーが民衆の心を煽んでいく様子を、「あの記憶〜」は1970年のイスラエルを舞台にアウシュビッツの傷跡を描く。2つの時間と場所から検証するナチス、ぜひ両作とも観てほしい。

文:徳永京子

脚本:古川 健 「熱狂」出演:西尾友樹 浅井伸治(以上、劇団チョコレートケーキ) ほか  
演出:日澤雄介 「あの記憶の記録」出演:岡本篤 浅井伸治(以上、劇団チョコレートケーキ) ほか

## COMING UP NEXT

演劇・ダンス ラインナップ

### ハイバイ 『ヒッキー・ソトニデミターノ』

2018年2月9日(金)~22日(木)  
シアターイースト  
作・演出:若井秀人  
チケット発売:12月9日(土)

### eyes plus 鳥公園「鳥公園のアタマの中」展

2018年2月27日(火)~3月4日(日)  
アトリエイースト  
企画:鳥公園

### 芸劇eyes 丸丸ストロークロック「まほろばの景」

2018年3月1日(木)~3月4日(日)  
シアターイースト  
作・演出:柳沼昭徳  
チケット発売:1月上旬予定

# エル・システマ・フェスティバル2017

## 東京芸術劇場で四度目になるエル・システマの祭典

今年も、ベルリン・フィルのコントラバス奏者エディクソン・ルイスが大活躍。新生「東京ホワイトハンドコーラス」も登場。

### 世界席捲の音楽教育プログラム“エル・システマ”

ベネズエラの音楽教育プログラム“エル・システマ”出身の世界的指揮者グスターボ・ドゥダメル(米国屈指のロスアンジェルズ・フィル音楽監督、世界二大オーケストラのベルリン・フィルとウィーン・フィルの世界ツアーも指揮する)が、シモン・ポリバル・ユース・オーケストラを率いて東京芸術劇場に登場したのは2008年のこと。今年も10年目になる。この10年で、日本でも“エル・システマ”という名称は認知され、そのプログラムが実践されるようになった。

エル・システマは、無料で楽器を習え、無料で楽器を借りられ、無料でオーケストラ活動に参加できる、ベネズエラ全土で展開される参加者70万人にもなる世界最大のオーケストラ教室プログラム。同時に同国の深刻な貧困問題への対処として、特に犯罪から子どもたちを守り、青少年に生きる価値を与える社会プログラムでもある。

東京芸術劇場では、2013年、2015年にもエル・システマのアーティストや音楽団体が登場する「エル・システマ・フェスティバル」を催し、今回は2年ぶりとなる。

### エディクソン・ルイスの室内楽を堪能

今年のプログラムは、エル・システマ出身のスター・コントラバス奏者エディクソン・ルイス(ベルリン・フィル)による室内楽マスタークラスと室内楽コンサートから始まる。エディクソンは、ベルリン・フィルと共に15年以上も



ララン・ソモス

東京ホワイトハンドコーラスのワークショップの様子



エディクソン・ルイス

井上道義

前から来日し、日本に多くの知己を持ち、日本の伝統文化にも理解を示す知日アーティストだ。地元ベルリンでも、積極的に室内楽活動をしているだけに、彼によるマスタークラスは音楽の中心地ベルリンの息吹を感じさせる興味深いものになるだろう。

室内楽コンサートでは日本を代表するチェロの堤剛とピアノの伊藤恵等と共にポツェジーニやシューベルトを演奏する。ポツェジーニは19世紀に活躍したイタリアのコントラバス奏者で作曲家。“コントラバスのバガニーニ”と呼ばれたほどの大家だけに、エディクソンの超技巧を堪能できるまたとないチャンス。コントラバスのソロを聴く機会は多くないだけに、聞き逃すことはできない。

### 日本とベネズエラ合同のエル・システマのガラ

最終日には、エディクソン、ベネズエラのエル・システマのアーティスト、それに2012年に福島県相馬から始まったエル・システマジャパンの指導者や子どもたちによるガラ・コンサートが行われる。第1部では、児童合唱で日本を代表する指導者の古橋富士雄の指揮による「相馬子どもコーラス」、ベネズエラ出身のソプラノ歌手コロネリか、それに今年東京芸術劇場とエル・システマジャパンの共催で立ち上げられた「東京ホワイトハンドコーラス」が登場する。「ホワイトハンドコーラス」とは、エル・システマによる障害などの理由により発話が難しい子どもたちの参加を重視した合唱団で、白い手袋をして歌詞を表現する“手歌”を行うことからその名称が付けられた。続く、第2部では、そのベネズエラから「ホワイトハンドコーラス」の代表メンバーからなるヴォーカル・アンサンブル「ララ・ソモス」が登場する。そして、第3部では、ベネズエラに渡航してエル・システマのオーケストラを振った経験も持つ井上道義が、エル・システマジャパンの活動を支える人々からなる「フェロー・オーケストラ」を指揮する。演奏曲は、エディクソンのソロで、クーセヴィツキーのコントラバス協奏曲短調など。また、堤剛ら室内楽コンサート出演のメンバーも、今回フェロー・オーケストラの一員として出演する。

エル・システマは現在、世界70カ国・地域以上に広まっている。その理由は、子どもたちに“演奏する喜び”を与えているからだ。“合奏する喜び”、“合唱する喜び”。今回のエル・システマ・フェスティバルでも、きっとそのことを発見するだろう。

文：山田真一(音楽評論家/「エル・システマ」著者)

10月20日(金) 18:00開演 シンフォニースペース(5階)  
エディクソン・ルイス 室内楽マスタークラス 聴講申込みはHPへ

10月21日(土) 14:00開演 コンサートホール  
エディクソン・ルイスと仲間たち 室内楽コンサート  
ヴァイオリン:辻彩奈 ヴィオラ:田原綾子 チェロ:堤剛  
コントラバス:エディクソン・ルイス ピアノ:伊藤恵

10月22日(日) 14:00開演 コンサートホール  
エル・システマ ガラコンサート

指揮:井上道義 合唱指揮:古橋富士雄 ソプラノ:コロネリか  
コントラバス:エディクソン・ルイス 児童合唱:相馬子どもコーラス  
東京ホワイトハンドコーラス(指導:井崎哲也、コロネリか)  
ララ・ソモス(ヴォーカル・アンサンブル)  
管弦楽:フェロー・オーケストラ



古橋富士雄

コロネリか

東京芸術劇場コンサートオペラvol.5

## ビゼー／歌劇『真珠とり』全3幕

演奏会形式 日本語字幕付 フランス語上演

## 音の大海原に包まれる境地を目指して

エキゾチックな音作りを得意とした作曲家ビゼーが、20代半ばで生み出した革新的なオペラ『真珠とり』。男同士の篤い友情と大自然の豊かな息吹が、客席の心を解きほぐす。

### 異国情緒を愛した天才作曲家ビゼー

大傑作《カルメン》の発表から三か月後、36歳で早逝したジョルジュ・ビゼー(1838-75)。彼は異国情緒を作り出すことにかけては、天才的な能力を有していた。中でも特筆すべきは、題材が自分にとって「未訪の地」であればあるほど、彼の想像力が刺激されたということ。《カルメン》は勿論スペインだが、そのほかにもエジプトやスコットランド、ロシアなど、行ったこともない土地柄をビゼーは次々と舞台化していた。オペラ史上稀にみるほどの尖った才能を有し、型にはまることを嫌った彼だけに、既存の情報に縛られず、自由な境地で音楽を作りたいのだった。そのビゼーが、まだ25歳という若さで、パリの劇場界に打って出た一作、それが、遙か南の島セイロン(現在のスリランカ)を舞台としたオペラ、3幕立ての《真珠とり Les pêcheurs de perles》である。

### 19世紀の人々を驚かせた問題作

漁夫の頭を務め、友情にも篤い男が、自分の恋心は封印した上で、部族の掟を破った尼僧と漁夫のカップルを逃がしてやるという《真珠とり》。21世紀の現在、本作の人気は高く、ビゼーの流麗なメロディが広く愛されている。まず、第1幕のテノールの優美なリア(耳に残るは君の歌声)が、アルフレッド・ハウゼ楽団のアレンジで「真珠採りのタンゴ」として一世を風靡したことが大きい。第1幕の友情の男声二重唱(神殿の奥深く)も、20世紀初頭の大手ノール、カールソーをはじめ大歌手たちの声でたびたび録音され、本作の復権に寄与した一曲である。

しかし、1863年に《真珠とり》がパリで世界初演を果たした時、客席はみな「困惑しきり」であった。その理由はひとえに、「音楽が滔々と流れ、合唱が支配的な曲調」が当時としては斬新過ぎたからである。

筋立てを深く理解したいフランス人は、オペラの舞台でも、語りに近い朗

2018年2月24日(土) 14:00開演 コンサートホール

指揮:佐藤正浩 管弦楽:ザ・オペラ・バンド(在京プロオーケストラメンバーによる)

レイラ:鷗尾麻衣 ナディール:ジョン・健・ヌッツォ  
ルガ:甲斐栄次郎 ニューバット:妻屋秀和  
コーラス:国立音楽大学合唱団

料金: S席6,000円 A席5,000円 B席4,000円 C席3,000円 D席1,500円



唱(レチタティーヴォ)とアリアを繋げるイタリア的な音作りか、アリアや重唱の間にセリフを挿み込むオペラ・コミックのスタイルを好んでいた。朗唱なら言葉が聴きとりやすく、セリフならなおさら聴きとれたからである。しかし、全編が朗々と歌われ、合唱の出番も類を見ないほどに多い《真珠とり》は、全く新しい様式の一作であり、「歌詞を掴みにくい」とみなされた。それゆえ、旋律美の魅力が皆が認めたものの、公演は18回で終わり、ビゼーの生前に再び上演されることはなかった。

### よみがえる《真珠とり》～海とビゼー

しかし、1886年に《真珠とり》がいきなり、奇跡の復活を遂げる。イタリアのミラノ・スカラ座が上演し、音楽の力が客席を大いに揺さぶつたのである。その後、フランス本国でも、欧州各地でも《真珠とり》は続々と披露され、今では世界中で愛される一作になった。特に、宇響システムが発達した21世紀では、観客もドラマをより追いやすので、ビゼーの歌美的なメロディとオーケストラの雄々しい響き、脈々と流れるコーラスの歌声を存分に楽しむことが出来るのだ。

《真珠とり》に接する人はみな、音楽が果てしなく広がる境地を体感するだろう。特に、冒頭の前奏曲の壮大な流れは、まさしく、大海原の穏やかさを音で描いたものにほかならない。実はビゼーは水泳が得意であり、イタリア留学の際に学友と海水浴を楽しんだ思い出を一生の心の宝としたほどだが、《真珠とり》のたっぷりとした響きは、その彼だからこそ作りえた、至高の境地なのである。「海は、どこまでも続くから海なのだ」というビゼーの思いがこのオペラには詰まっている。東京芸術劇場のステージでも、実力派のソリスト勢と若々しい歌声を響かせる合唱団、そして佐藤正浩指揮のオーケストラの面々の演奏が混然一体となり、「音の大海」で客席を包み込む瞬間を、心待ちにしている。

文:岸純信(オペラ研究者)



佐藤正浩

鷗尾麻衣

ジョン・健・ヌッツォ

甲斐栄次郎

妻屋秀和

東京芸術劇場&ミュゼザ川崎シンフォニーホール共同企画

# 第8回 音楽大学オーケストラ・フェスティバル

## 音大オケに オーケストラの「未来」を聴こう!

皆さまはホールでオーケストラの演奏に浸るとき、何を期待しますか？その楽団が培ってきた伝統の音、個々のパートや奏者の技量、精緻な合奏技術から繰り出されるスリリングな快感、指揮者への共感や緊張感…オーケストラの楽しみ方はいろいろです。

共演形式で開催される「音楽大学オーケストラ・フェスティバル」は、首都圏の9つの音大が、授業の中でオーケストラの音作りを基礎から学び、研鑽を積んできた成果を披露しあう演奏会です。共演校の存在が刺激となって若者たちの心と技が化学反応を起こし、プロ顔負けの演奏となることもしばしば。過去にも熱演を超えた素晴らしい演奏がたびたび繰り広げられてきました。このフェスティバルからプロのオーケストラ奏者に育っていった卒業生も多数いて、まさにオーケストラの「未来の音」に出逢える絶好の機会といえるのです。

プログラムにもご注目！オーケストラの機能性が試される難曲で技術と表現力を競うようなプログラムや、交響楽作品の名曲で真っ向勝負を挑むようなプログラムなど、どれも聴き応え充分。若手指揮者との力演や、巨匠・ベテラン指揮者との真摯な音楽づくりにも期待が高まります。また、共演校へのエールとして演奏される各校オリジナルのファンファーレも毎回楽しみな趣向。

相手を敬い讃える「音楽の心」が、ホール全体に独特な温かさを醸し出してくれます。音大生たちの創り出す響きに、オーケストラの「未来の音」を探してみるのも一興です。

文：吉田雅之  
(テラルテ会代表、フェリス学院大学大学院非常勤講師、秋田・アトリウム音楽ホール芸術監督)

11月18日(土)15:00開演 コンサートホール 詳細はP12へ  
東京藝術大学(指揮:ラースロー・ティハノ) & 桐朋学園大学(指揮:中田延亮)

11月19日(日)15:00開演 コンサートホール  
武蔵野音楽大学(指揮:時任康文) & 東京音楽大学(指揮:川瀬賢太郎)

11月25日(土)15:00開演 ミュゼザ川崎シンフォニーホール 詳細はHPへ  
上野学園大学(指揮:清水龍輝) & 昭和音楽大学(指揮:海老原光)

12月2日(土)15:00開演 ミュゼザ川崎シンフォニーホール  
東邦音楽大学(指揮:梅田俊明) & 国立音楽大学(指揮:尾高忠明) & 洗足学園音楽大学(指揮:秋山和慶)



東京芸術劇場パイプオルガン・コンサート Vol.22

## 聖夜に贈るクリスマス・オラトリオ サン=サーンス《クリスマス・オラトリオ》を 東京芸術劇場クリスマスの定番に!

2015年のクリスマス・コンサートで大好評いただいたサン=サーンス《クリスマス・オラトリオ》は、降誕日のミサで必ず唱えられることは、福音書や詩篇などを、美しい音楽にのせて歌うクリスマス物語です。初演が行われたパリ、マドレーヌ教会の当時の実情に合わせたためか、編成は弦楽合奏、5人の独唱者を含む合唱、ハーブと大オルガンという特殊なものです。また、曲全体がオルガンの柔らかな響きに包まれているため、オルガンそのものの音色に演奏の仕上がり左右され、特に19世紀後半以降のフランスオルガン音楽に必須のストップ、オーボエが重要であること、など、演奏の条件が意外に厳しく、残念ながら日本ではあまり演奏されません。

そこで、オルガンという点では、フランスの古典期と19世紀ロマン派以降の演奏を得意とする東京芸術劇場のモダン・オルガンがまさにぴったりなレパートリーですので、年末恒例の《第九》や《メサイア》のように、東京芸術劇場クリスマス・パイプオルガンコンサートの定番として演奏していくことになりました。今年は、物語の進行と音楽との関係をよりわかりやすくするため

に、歌詞対訳をリアルタイムに表示するなど、さらに工夫を重ねていきたいと考えています。

今年の前半は、クリスマスの讃美歌による、J.S.バッハ(カノン風変奏曲「高き御空よりわれは来たり」BWV769a)を中心に、東京芸術劇場のパイプオルガンのもうひとつの様式、バロック・オルガンをお楽しみいただけます。18世紀の中部ドイツ、ルター派の音楽と、19世紀後半、フランス、カトリック教会のクリスマスの雰囲気をも、どちらも同時に近い響きで、東京に居ながらにして楽しめるという、複数の様式のオルガンを持つ東京芸術劇場ならではの贅沢な演奏会です。

文：小林英之(東京芸術劇場オルガニスト)

12月19日(火)19:00開演 詳細はP14へ  
コンサートホール  
オルガン:小林英之/川越聡子  
指揮:青木洋也  
管弦楽:フィルハーモニー・ハンマーマンサンブレ ほか



## 芸劇ウインド・オーケストラ・アカデミー アトリウムコンサート 無料

9月~2018年2月 各回12:15演奏開始 ※12月8日のみ11:30演奏開始 アトリウム(1階) 詳細はHPへ



2016年12月  
芸劇ウインド・オーケストラ アンサンブル演奏会より

### 開放的なアトリウムで楽しむ、若手演奏家の生演奏

次世代の若手演奏家を育成するプロジェクト、芸劇ウインド・オーケストラ・アカデミーは、9月より、無料でお楽しみいただける「アトリウムコンサート」を開催しています。東京芸術劇場の開放的な吹き抜けのアトリウム空間で、若くて才能あふれるアカデミーメンバーが、木管楽器や金管楽器による温もりのある音色をお届けします。プログラムは、誰もが知る名曲や室内楽の小品のほか、近代吹奏楽が発展したアメリカの作曲家による楽曲を毎回1曲ずつ紹介します。ヨーロッパ発祥のクラシック音楽から、フォーク、ジャズなどの影響を受けつつ発展していったアメリカ音楽の歴史をたどる楽曲は、ミュージカルや映画などで耳馴染みのある曲も多く、クラシック音楽の広がりや面白さを知るきっかけになるに違いありません。

ランチタイムのちょっとした気分転換に、小さなお子さまと一緒になど、どなたでも気軽に生演奏をお楽しみいただけるのもアトリウムコンサートの醍醐味です。この機会にぜひ、生演奏の魅力を味わいにお越しください!

- 10月3日(火)金管六重奏 ガーシュイン・イン・プラス ほか
  - 11月1日(水)木管五重奏 舞踏会の美女(アンダーソン) ほか
  - 11月15日(水)木管三重奏 小品(ビストン) ほか
  - 12月6日(水)打楽器四重奏 プレリユード(ガーシュイン) ほか
  - 12月20日(水)金管五重奏 カナディアン・プラス・ロジャース・アンド・ハマースタイン・ヒッツ ほか
  - 2018年1月17日(水)サクソ四重奏 ウェスト・サイド・ストーリー・セレクション(バーンスタイン) ほか
  - 2018年2月7日(水)木管五重奏 キャンディード序曲(バーンスタイン) ほか
- 【各回約30分】

芸劇ウインド・オーケストラ・アカデミー [HP]www.geigeki.jp/performance/geigekiwoa/ [Facebook]@geigeki.wind.orchestra.academy

## みらかグループ presents 辻井伸行 音楽と絵画コンサート

12月12日(火)19:00開演 コンサートホール 詳細はP13へ



辻井伸行

### 目でも耳でも美を堪能する、贅沢で特別な時間

スクリーンに映された写真や絵画とともに、辻井伸行の美しいピアノ演奏を聴く「辻井伸行 音楽と絵画コンサート」が、大好評を博した昨年にも続き今年も東京芸術劇場にやってきます。前半は思い出の写真や美しい風景写真とともに辻井の自作曲を、後半はフェルメールや印象派の画家たちの絵画とともにドビュッシーやラヴェル、ショパンの名曲をお楽しみいただけます。目でも耳でも美を堪能できる、贅沢で特別な時間をお過ごしください。ピアノ:辻井伸行

## 前橋汀子 クリスマス・デライト・コンサート Vol.5

12月13日(水)11:30開演 コンサートホール 詳細はP13へ



前橋汀子

### 平日お昼のひとときに、気軽にヴァイオリンの名曲を

平日の昼間、1時間の演奏会として定着した「前橋汀子 デライト・コンサート」も今年で5回目を迎えます。今回はクリスマス・デライト・コンサートと題し、J.S.バッハ《主よ、人の望みの喜びよ》やヘンデル《メサイア》より《レレラ》などの誰もが知るクリスマスの名曲を、ピアノ、弦楽カルテット、パイプオルガン、聖歌隊との共演でお届けします。年末のお昼のひとときを、前橋汀子の美しいヴァイオリンでお楽しみください。

ヴァイオリン:前橋汀子 ピアノ:松本和将 シンセサイザー:丸山貴幸  
弦楽カルテット:森下幸路、駒馬哲男、小倉朝子、中西哲人 パイプオルガン:新山恵理 立教学院諸聖徒礼拝堂聖歌隊  
【お問合せ】カジモト・イーラス 0570-06-9960

## 東京芸術劇場シアターオペラvol.11 プッチーニ 歌劇『トスカ』《新演出》全3幕 日本語字幕付 イタリア語上演

10月27日(金)18:30開演・29日(日)14:00開演 コンサートホール 詳細はP10へ

### 世界的映画監督・河瀬直美 オペラ初演出に挑む

指揮:広上淳一 演出:河瀬直美 管弦楽:東京フィルハーモニー交響楽団  
合唱:東邦音楽大学合唱団 児童合唱:TOKYO FM 少年合唱団  
トス香トスカ:ルイザ・アルブレヒトヴァ カバラ導師・万里生(ヴァラドシ):アレクサンドル・バディヤ  
須賀ルビオ(スカルピオ):三戸大久 アンジェロツァ(アンジェロツァ):森雅史 堂森(堂守):三浦克次  
スボレッタ(スボレッタ):与儀巧 シャル郎(シャルローネ):高橋洋介 看守:原田勇雄 牧童:島木雅生



河瀬直美 広上淳一 ルイザ・アルブレヒトヴァ アレクサンドル・バディヤ



**11 NOV** ▶ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30  
 水 木 金 祝 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 祝 金 土 日 月 火 水 木

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 【休館日を除く】 10:00～19:00 東京芸術劇場 ホームページ **www.geigeki.jp** 休館日：13日(月)・27日(月)

**Concert Hall**

**1日(水) 19:00開演** BOX

東京芸術劇場 Presents プラスウィーク 2017  
**ブラック・ダイク・バンド**

出演者 ニコラス・チャイルズ(Cond) / ブラック・ダイク・バンド  
 収録曲 (ジェームズ・ボンド007組曲) / ビーター・グレイナム / メトロポリス1927 / トゥー・ホールドリー・ゴー ほかに  
 全席指定 一般:5,400円 / 学生:2,700円  
 ジャパン・アーツびあコールセンター 03-5774-3040

**5日(日) 14:00開演** BOX

立教大学交響楽団 第108回定期演奏会

出演者 田中一嘉(Cond) / 立教大学交響楽団  
 ベートーヴェン / 「フィデリオ」序曲 / チャイコフスキー / バレエ音楽くみり割人形 / シベリウス / 交響曲第1番  
 S:1,500円 / A:1,000円 / 車椅子:1,000円  
 立教大学交響楽団 080-6501-0137

**9日(木) 18:30開演** BOX

障害者週間 東欧音楽家支援  
 日本・ポーランド文化交流演奏会  
 東日本大震災チャリティーコンサート

出演者 及川光悦(Cond) / ヤヌシュ・ビートル・スタネツキ(Hr) / グルガナ・ネストロヴァ(Pf) / モーツァルト・ヴィルトゥオーソ・祝祭管弦楽団  
 モーツァルト / ホルン協奏曲第3番 / ピアノ協奏曲第27番 / チャイコフスキー / 交響曲第4番  
 S:6,000円 / A:5,000円 / B:4,000円  
 日本音楽文化交流協会 03-3442-2325

**12日(日) 14:00開演**

メトロポリス・クラシックス

※9月22日(金)募集終了。当日の追加発券はございません。

**19日(日) 15:00開演** BOX

東京芸術劇場&ミュージアムザクシオンフォーニール共同企画  
**第8回音楽大学オーケストラ・フェスティバル**  
 武蔵野音楽大学&東京音楽大学

出演者 武蔵野音楽大学:時任康文(Cond) / 東京音楽大学:川瀬賢太郎(Cond)  
 収録曲 【武蔵野音楽大学】ラフマニノフ / 幻想的舞曲 / 【東京音楽大学】ペルリオス / 幻想交響曲  
 全席指定 1回券:1,000円 / 通し券\*:3,000円  
 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

**23日(木・祝) 14:00開演** BOX

東京佼成ウインドオーケストラ  
**第136回定期演奏会**

収録曲 坂森範範(Cond) / 東京佼成ウインドオーケストラ / クロート・トーマス・スミス / 華麗なる舞曲 / 高橋悠治 / 選曲 / ショスタコーヴィチ(大橋晃一編) / バレエ組曲「ポルト」ほか  
 S:6,000円 / A:4,500円 / B:3,500円 / C:1,500円  
 東京佼成ウインドオーケストラ事務局 03-5341-1155

**3日(金・祝) 14:00開演** BOX

日本フィル サンデーコンサートスペシャル

出演者 小林研一郎(Cond) / 牛田智大(Pf) / 日本フィルハーモニー交響楽団  
 収録曲 リスト / 交響詩「プレリュード」 / 死の舞踏 / チャイコフスキー / 交響曲第5番  
 S:8,000円 / A:6,500円 / B:6,000円 / C:5,000円 / Ys:1,500円 / Gs:5,000円  
 日本フィルサービスセンター 03-5378-5911

**6日(月) 13:00開演**

城西大学附属城西中学・高等学校  
**第40回音楽祭**

出演者 城西大学附属城西中学・高等学校 教員・講師・生徒  
 収録曲 入場無料(要整理券)  
 城西大学附属城西中学・高等学校 03-3973-6331

**10日(金) 15:00開演**

第3回スマイル大合唱フェスティバル

出演者 坂本和彦(Cond) / 小原孝(Pf) / サーカス(Vo) / 岡本知高(S) / 小貫丈夫(Vo) / としまユングフェスタオーケストラ / ハートフルヴォイセス(Chor) ほかに  
 威風堂々 / 暈月夜 / 誰も寝てはならぬ ほかに  
 全席指定 5,000円  
 スマイル大合唱フェスティバル事務局 03-6304-0161

**17日(金) 19:00開演**

明治学院大学管弦楽団  
**第90回記念定期演奏会**

出演者 汐澤安彦(Cond) / 明治学院大学管弦楽団  
 収録曲 サマースーン / 交響曲第3番「オルガン付き」ほか  
 全席指定 7,000円  
 明治学院大学管弦楽団 090-3395-5703

**20日(月) 19:00開演** BOX

ブダベスト・フィルハーモニー管弦楽団

出演者 ヤーノシュ・コヴァーチ(Cond) / ブダベスト・フィルハーモニー管弦楽団  
 収録曲 プラムス / ハンガリー舞第5番 / ベートーヴェン / 交響曲第3番「英雄」 / モーツァルト / 交響曲第41番  
 S:9,000円 / A:7,000円 / B:5,000円  
 コンサート・ドアーズ 03-3544-4577

**25日(土)・26日(日)**

第70回 全日本合唱コンクール  
**全国大会**

※有料(詳細は主催へお問合せください)  
 全日本合唱連盟コンクール係 03-5540-7813

**4日(土) 14:00開演** BOX

東京ニューシティ管弦楽団  
**第115回定期演奏会**

出演者 田中祐子(Cond) / 柳田祐那子(Vn) / 東京ニューシティ管弦楽団  
 収録曲 ドヴォルザーク / 波の盆 オケストラのための(1996年版) / ドヴォルザーク / ヴァイオリン協奏曲 / 武満徹 / ア・ウェイ・ア・ローンII 弦楽オーケストラのための / ストラヴィンスキー / バレエ組曲「火の鳥」(1945年版)  
 S:6,500円 / A:5,000円 / B:3,500円 / C:2,500円  
 事務局チケットデスク 03-5933-3266

**8日(水) 19:00開演**

海上保安庁音楽隊 第24回定期演奏会

出演者 福垣征夫(Cond) / 海上保安庁音楽隊  
 収録曲 行進曲「黒馬騎兵中隊」 / イーストコーストの進軍の歌 / 「君の名は。」コレクション ほかに  
 無料(はがき / インターネット要応募)  
 海上保安庁政策評価広報室 03-3931-6361

**11日(土) 18:00開演**

慶應義塾ワグネル・ソサイエティー男声合唱団  
**第142回定期演奏会**

出演者 佐藤正浩、清水歌一(Cond) / 小川里美(S) / 谷口伸(Br) / 慶應義塾ワグネル・ソサイエティー男声合唱団 ほかに  
 男声合唱組曲「ひたすらな道」 / ワグナー / 歌劇「タンホイザー」より ほかに  
 S:3,000円 / A:2,000円 / B:1,000円  
 チケット担当 080-5524-9323

**18日(土) 15:00開演** BOX

東京芸術劇場&ミュージアムザクシオンフォーニール共同企画  
**第8回音楽大学オーケストラ・フェスティバル**  
 東京芸術大学&桐朋学園大学

出演者 東京藝術大学:ラースロー・ティハニ(Cond) / 桐朋学園大学:中田延亮(Cond)  
 収録曲 【東京藝術大学】 / ストラヴィンスキー / バレエ音楽「ペトルーシユカ」(1947年版) / プロコフィエフ / バレエ音楽「ロミオとジュリエット」より抜粋  
 全席指定 1回券:1,000円 / 通し券\*:3,000円  
 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

**21日(火) 19:00開演** BOX

フジコ・ヘミング&  
 ブダベスト・フィルハーモニー管弦楽団

出演者 マリオ・コシツク(Cond) / フジコ・ヘミング(Pf) / ブダベスト・フィルハーモニー管弦楽団  
 収録曲 リスト / ピアノ協奏曲第二番 / ラカンパネラ / ベートーヴェン / 交響曲第三番「英雄」  
 S:12,000円 / A:10,000円 / B:8,000円 / C:6,000円  
 コンサート・ドアーズ 03-3544-4577

**30日(木) 14:00開演** BOX

東京都交響楽団 第843回定期演奏会

出演者 小泉和裕(Cond) / 堀米ゆず子(Vn) / 東京都交響楽団  
 収録曲 モーツァルト / 交響曲第35番「ハフナー」 / フルツィン / ヴァイオリン協奏曲第1番 / R.シュトラウス / 交響詩《ドン・ファン》 / 交響詩(ホルン・オーケストラ・ピアノの輪舞曲)ほか  
 S:7,500円 / A:6,500円 / B:5,500円 / C:4,500円 / Ex:3,500円  
 都響ガイド 0570-056-057

**Playhouse**

**3日(金・祝)~5日(日)** BOX

「オセロー」

出演者 ウィリアム・シェイクスピア 脚本 イヴォ・ヴァン・ホーヴェ 演出 トネールグループ・アムステルダム  
 S:6,000円 / A:4,500円 / 高校生以下\*:1,000円 / 25歳以下(A)\*:3,000円 / 65歳以上(S)\*:5,000円  
 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

(オランダ語上演・日本語字幕付)

11月	3	4	5	
	金	土	日	
13:00	●	●	●	
17:00	●	●	●	

**11日(土)~29日(水)** BOX

すべての四月のために

出演者 鄭義信  
 森田剛 / 臼田あさ美 / 西田尚美 / 村川絵梨 / 伊藤沙莉 / 小柳友 / 稲葉友 / 池田勇 / 津村知寿 / 牧野莉佳 / 近藤公園 / 中村靖日 / 山本享 / 麻実れい ほかに  
 全席指定 9,500円 サンライズプロモーション東京 0570-00-3337

11月	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
13:00	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
13:30	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
18:00	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
18:30	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

**Theatre East**

**~19日(日)** BOX

「表に出ろいっ!」 English version  
 "One Green Bottle"

出演者 野田秀樹 演出 ウィル・シャープ  
 キャラソン・ハンター / グリン・プリチャード / 野田秀樹 吹き替えキャスト:大竹しのぶ / 阿部サダヲ / 野田秀樹  
 田中傳左衛門  
 一般:6,000円 / 65歳以上\*:5,000円 / 25歳以下\*:3,000円 / 高校生割引(対象日限定)\*:1,000円  
 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

**6日(月)・7日(火) 19:00開演** BOX

☆視覚障害者のための「舞台説明会」  
 ※聴覚障害者のための「ボータブル字幕提供/実施(要予約)」  
 ▲収録用のカメラが場内に設置されます。  
 (英語上演・イヤホンガイド(日本語吹き替え)付)

☆視覚障害者のための「舞台説明会」  
 ※聴覚障害者のための「ボータブル字幕提供/実施(要予約)」  
 ▲収録用のカメラが場内に設置されます。  
 (英語上演・イヤホンガイド(日本語吹き替え)付)

☆視覚障害者のための「舞台説明会」  
 ※聴覚障害者のための「ボータブル字幕提供/実施(要予約)」  
 ▲収録用のカメラが場内に設置されます。  
 (英語上演・イヤホンガイド(日本語吹き替え)付)

**10日(金)~12日(日)** BOX

東おんなに京おんな

出演者 ひょうた 演出 田村裕  
 岡本麗 / 鏡田真由  
 全席指定 前売4,500円 / 当日5,000円 / U-25:2,500円 / シニア(60歳以上)4,000円 / (トム・プロジェクトのみ販売 / 前売当日同料金)  
 トム・プロジェクト 03-5371-1153

**25日(土)・26日(日) 10:10開演**

第40回東京都高等学校文化祭演劇部門中央会  
**第71回東京都高等学校演劇コンクール中央発表会**

出演者 入場無料(事前予約制)  
 東京都深川高等学校 03-3649-2101

**16日(木)~19日(日)** BOX

ミュージカル「ミルコとカギロイの森」

出演者 横山清崇 / 高橋朋素 / 木村花代 / 角川裕明 / 占部辰也 / 大川朋子 / 斉藤美絵子 / 青木結矢 ほかに  
 前売SS:8,000円 / S:7,000円 / A:5,500円 / 当日SS:8,500円 / S:7,500円 / A:6,000円  
 特定非営利活動法人青少年ミュージカル芸術文化振興協会 03-6427-5823 / 090-2490-3737

**25日(土)・26日(日) 10:10開演**

第40回東京都高等学校文化祭演劇部門中央会  
**第71回東京都高等学校演劇コンクール中央発表会**

出演者 入場無料(事前予約制)  
 東京都深川高等学校 03-3649-2101

**Theatre West**

**~5日(日)** BOX

Studio Life舞台版  
**はみだしっ子**

出演者 三原順 演出 倉田淳  
 山本芳樹 / 岩崎大 / 松本慎也 / 仲原裕之 / 宇佐見輝 / 久保優二 ほかに  
 (※トリアルキャスト 出演者は全公演に出演)  
 全席指定 前売:当日:5,800円 / cube LIFE会員:5,500円 / 学生:3,000円 / 高校生以下:2,500円  
 スタジオライフ 03-5942-5067

**6日(月)・7日(火) 19:00開演** BOX

＜断小屋in池袋＞霜月の独り看板

6日(月) 第一夜 嵐気楼龍玉「女殺油地獄」  
 近松門左衛門 本田久作 演出 嵐気楼龍玉  
 7日(火) 第二夜 橋家文蔵～酒三態 酒サケさけ  
 橋家文蔵 ほか  
 全席指定 前売:3,600円 / 通し券:10,000円(6日・7日20日)  
 いがぐみ 03-6909-4101

**10日(金)~12日(日)** BOX

東おんなに京おんな

出演者 ひょうた 演出 田村裕  
 岡本麗 / 鏡田真由  
 全席指定 前売4,500円 / 当日5,000円 / U-25:2,500円 / シニア(60歳以上)4,000円 / (トム・プロジェクトのみ販売 / 前売当日同料金)  
 トム・プロジェクト 03-5371-1153

**16日(木)~19日(日)** BOX

ミュージカル「ミルコとカギロイの森」

出演者 横山清崇 / 高橋朋素 / 木村花代 / 角川裕明 / 占部辰也 / 大川朋子 / 斉藤美絵子 / 青木結矢 ほかに  
 前売SS:8,000円 / S:7,000円 / A:5,500円 / 当日SS:8,500円 / S:7,500円 / A:6,000円  
 特定非営利活動法人青少年ミュージカル芸術文化振興協会 03-6427-5823 / 090-2490-3737

**20日(月) 19:00開演** BOX

＜断小屋in池袋＞霜月の独り看板  
**第三夜 立川龍志「子別れ」通し**

出演者 立川龍志  
 全席指定 前売:3,600円 / 通し券:10,000円  
 いがぐみ 03-6909-4101

**25日(土)・26日(日) 10:10開演**

第40回東京都高等学校文化祭演劇部門中央会  
**第71回東京都高等学校演劇コンクール中央発表会**

出演者 入場無料(事前予約制)  
 東京都深川高等学校 03-3649-2101



10.11.12  
OCT NOV DEC

東京芸術劇場ホームページ www.geigeki.jp

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 (休館日を除く10:00~19:00)

**Gallery 1 (5F)**

9月30日(日)~1日(月) <b>無料</b> 公益社団法人 松風花道会いけばな展 03-5940-2918	4日(水)~8日(日) <b>無料</b> 第15回 銀粘土てつくる シルバーアクセサリーコンテスト アートクレ(倶楽部)事務局 松下 042-366-8771	10日(火)~15日(日) <b>無料</b> 謝天マークエステル 絵画コラボ展 メルスモン製薬株式会社 03-5960-4821	18日(水)~21日(土) <b>無料</b> 第20回記念 公募インテリアの書展 インテリアの書展事務局 049-284-4311	22日(日)~25日(水) <b>無料</b> 楽書会書展 第16回東京展 加藤 080-5672-1168	27日(金)~29日(日) <b>無料</b> Gallery 1-2 同時開催 第31回紅霧書展・ 第34回書藝選抜展 合同開催 東京書道教育会 03-5770-6811
2日(水)~4日(土) <b>無料</b> 第28回日中友好 自詠詩交流展東京展 日中友好自詠詩交流会 事務局長 中村 03-3837-4445	5日(木)~9日(月) <b>無料</b> 十人十色百真百同 栄美子戸田 ロープレニューゼファーズスキル展 ニューゼファーズ事務局 三沢 042-491-0797	11日(土)~16日(水) <b>無料</b> 第9回国際交流展 麻生 03-3262-7002	17日(金)~21日(火) <b>無料</b> Gallery 1-2 同時開催 としま区民芸術祭 豊島区総合美術展 公益財団法人しま未来文化財団 おひさ文化アソシエーション 03-3590-7118	23日(水)~26日(日) <b>無料</b> Gallery 1-2 同時開催 第35回日本革工芸展 糸井 080-3272-7480	29日(水)~12月3日(日) <b>無料</b> Gallery 1-2 同時開催 第30回 東京都高等学校 文化連盟書道展 都立江北高等学校定時制課程 矢口 03-3880-3413
7日(水)~10日(日) <b>無料</b> The Lucie Awards 2017 荻田 090-2283-6278	14日(水)~17日(土) <b>無料</b> 第36回肢体不自由児・者の 美術展 / デジタル写真展 吉原 03-5995-4511				

**Gallery 2 (5F)**

9月30日(日)~1日(月) <b>無料</b> 映月松風流創流 80周年記念いけばな展 佐藤 03-3428-5163	4日(水)~8日(日) <b>無料</b> 第5回心和書道会小品展 第7回 和様の書展 座野 090-3505-2082 うどよし 080-8315-8980	13日(金)~15日(日) <b>無料</b> 第7回 和様の書展 うどよし 080-8315-8980	17日(火)~21日(土) <b>無料</b> 現代水墨画 今岡紫雲英 グループ展 今岡 080-2069-2090	22日(日)~25日(水) <b>無料</b> 第8回ART CONFUSE展 百瀬 090-2218-7403	27日(金)~29日(日) <b>無料</b> Gallery 1-2 同時開催 第31回紅霧書展・ 第34回書藝選抜展 合同開催 東京書道教育会 03-5770-6811
3日(金)~5日(日) <b>無料</b> スターリマン 30周年記念展覧会 スターリマン30周年記念プロジェクト 事務局 はせがわ 090-3910-8895	7日(水)~12日(日) <b>無料</b> CLUB LIGHT PARTY 写真展「流れ」 弾塚 03-3930-8404	19日(日)~21日(火) <b>無料</b> としま区民芸術祭豊島区総合美術展 公益財団法人しま未来文化財団 文化課アソシエーション 03-3590-7118	23日(水)~26日(日) <b>無料</b> Gallery 1-2 同時開催 第35回日本革工芸展 糸井 080-3272-7480	29日(水)~12月3日(日) <b>無料</b> Gallery 1-2 同時開催 第30回 東京都高等学校 文化連盟書道展 都立江北高等学校定時制課程 矢口 03-3880-3413	
9日(土)~10日(日) <b>一般有料</b> 第五回べつ甲デザインコンテスト &べつ甲加工体験教室 塩谷 090-5126-3079	13日(水)~18日(月) <b>無料</b> 心に響く秀作展2017 藝術出版社 03-3464-4451	23日(土)~24日(日) <b>無料</b> 巢鴨学園美術書道作品展 巢鴨学園 03-3918-5311			

**Atelier East (B1F)**

9月28日(水)~1日(日) <b>無料</b> 第二十八回泰永書展 ハンガリー国際書道展 也太奇(やたいき)内 マンゾウ 03-3332-3701	4日(水)~15日(日) <b>一般有料</b> Atelier East-West 同時開催 F/Tステーション フェスティバル/トーキョー 実行委員会事務局 03-5961-5202 tolawase@festival-tokyo.jp	17日(火)~21日(土) <b>無料</b> 第14回 アートするのるの会作品展 鈴木 048-478-7735	22日(日)~25日(水) <b>無料</b> 傘寿記念 天辻 明 個展 天辻 042-421-2951	26日(水)~29日(日) <b>無料</b> 第38回 日書振書道展 IN [東京芸術劇場アトリエース] PART2 日本書写書道振興会(文書館内) 03-3918-5351	30日(月)~11月4日(土) <b>無料</b> 第2回津田写真塾 写真展 内村 090-5536-4205
5日(日)~8日(水) <b>無料</b> マレーシアの人形劇 ポトヒー多民族国家の文化実践を知る オノノキシアート・スタジオのオノヒ 藝文化 080-7747-1734	9日(水)~12日(日) <b>無料</b> 第21回城北支部写真展 「ふくろう」 清水 048-463-3367	15日(水)~21日(火) <b>無料</b> ポタニカルアート 花愛でる2人展 山本 03-5998-7446	28日(水)~12月3日(日) <b>無料</b> 第2回彫心(ざいごころ)展 原 090-3688-2612		
4日(月)~10日(日) <b>無料</b> チャラリー大作戦10 -五里霧中- 小関 090-2167-8152	12日(火)~17日(日) <b>無料</b> 第25回銅版画展 志村 03-3939-2417	23日(土)~25日(月) <b>無料</b> 多摩美術大学 演劇舞踊デザイン学科 第一期生展 多摩美術大学演劇舞踊デザイン学科 研究室 03-3702-1186			

**Atelier West (B1F)**

9月29日(金)~1日(日) <b>無料</b> 第4回 酒井康成・子連一門会 志形印社 周 080-6670-0567	4日(水)~15日(日) <b>一般有料</b> Atelier East-West 同時開催 F/Tステーション フェスティバル/トーキョー 実行委員会事務局 03-5961-5202 tolawase@festival-tokyo.jp	18日(水)~21日(土) <b>無料</b> 第25回希風会書作展 庭野 048-479-4440/ 090-3505-2082	22日(日)~25日(水) <b>無料</b> 峯哲夫「爪掻き掻れ織帯」展と 大野信幸「伊勢形小紋」展 大野 090-3353-9858	27日(金)~29日(日) <b>無料</b> 第19回 愚山会書展 東京書道教育会 03-5770-6811	31日(火)~11月4日(土) <b>無料</b> キャンノンフォトクラブ・ エアライナーズ写真展 「飛行機のある風景」 前田 090-2626-3914
5日(日)~8日(水) <b>無料</b> 第8回オリーブの会 透明水彩画展 野島 03-6751-7828	9日(水)~12日(日) <b>無料</b> 第24回創作者集団 アートビックス展 鈴木 080-6656-1751	14日(火)~21日(火) <b>無料</b> 小磯展からの・4人展 米谷 047-391-0136/ 090-8566-7138	29日(水)~12月1日(金) <b>無料</b> キルトに感謝 -辻 淑子作品展- 辻 03-3967-8046		
6日(水)~10日(日) <b>無料</b> 多々良征四郎・弘子 二人展 多々良 03-3923-5591	14日(水)~17日(日) <b>無料</b> 紛争地域から生まれた演劇シリーズ9 日本と世界の出会いをめぐって 有料 事前申込 国際演劇協会日本センター 03-3478-2189				

集まれ! 池袋みんなの大道芸 無料  
9月~11月の週末 劇場前広場など 詳細はHPへ



McFois  
チャレンジ広場の様子

**ストリートアーティスト達が彩る芸術の秋**  
庄巻のアクロバットパフォーマンス、痛快なコメディ……滅多に見られない海外からのスペシャルゲストも出演! ゴールデンウィークに賑わいを見せた「集まれ! 池袋みんなの大道芸」が、引き続き9月~11月の週末に開催されます。第一線で活躍する選りすぐりのストリートパフォーマンスたちの魅力をぜひ味わいにお越しください。ポールやディアボロなど、ジャグリングの技にチャレンジできる「チャレンジ広場」も開催します。  
【お問合せ】東京芸術劇場 事業調整係 03-5391-2116

「池袋学」都市の体温 ー池袋の想像力ー 詳細はHPへ  
11月16日(木) 19:00開講 シンフォニースペース(5階)



森山大道

**世界的写真家ー森山大道ーが語る都市、そして池袋の現在**  
「池袋学」は、歴史や文化などさまざまな視点から池袋を考えるため、東京芸術劇場と立教大学の連携により2014年よりスタートした公開講座です。池袋とその周辺地域の魅力を様々な角度から検証する試みとして、これまでにさまざまな方にお話をいただきました。今年はその総括として、現在、池袋を拠点に活動している世界的写真家、森山大道を講師に迎えます。  
路上を舞台に街を捉え続けてきた写真家の視点から、何が見てくるのか? 現在の池袋という街や、自らの写真のことなどについて、作家独自の視点で縦横無尽に語っていただきます。聞き手は明治大学教授、写真評論家の倉石信乃。  
講師: 森山大道(写真家) 聞き手: 倉石信乃(明治大学教授、写真評論家) 料金: 1,000円(定員制)  
【お問合せ】東京芸術劇場 事業調整係 03-5391-2116

人材育成・教育普及事業

ストリートアーティスト・アカデミー2017  
海外講師特別ワークショップ

10月24日(火)・25日(水) リハーサルルームL (B2階)  
ストリートでのパフォーマンスをおこなうためのワークショップ講座、ストリートアーティスト・アカデミー。10月に開催する、海外講師による特別ワークショップの受講者を募集します。また、来年1月中旬より冬期ワークショップを開催予定です。



ピーター・ポスト(オランダ) ベルチオール・マヌイー(ベルギー)

講師: 24日(火) Pieter Post & 橋本隆雄 / 25日(水) Bernard Massuir  
開催時間: 13時~16時(途中休憩あり) \*日本語訳付 申込締切: 10月5日(木)  
料金: 24日(火) 1,000円 / 25日(水) 2,000円(定員制・要事前申込)  
【お問合せ】東京芸術劇場 事業調整係 03-5391-2116 詳細はHPへ

東京芸術劇場バックステージツアーvol.9  
「劇場のお仕事 プレイハウス編」

12月26日(火) プレイハウス  
普段は見ることのできない、東京芸術劇場の舞台裏をのぞくことができる「バックステージツアー」を開催! 劇場で働くスタッフの案内で、照明や音響の機材に触れてみたり、舞台機構や楽屋を見学したり、子どもからおとなまでお楽しみいただけます。

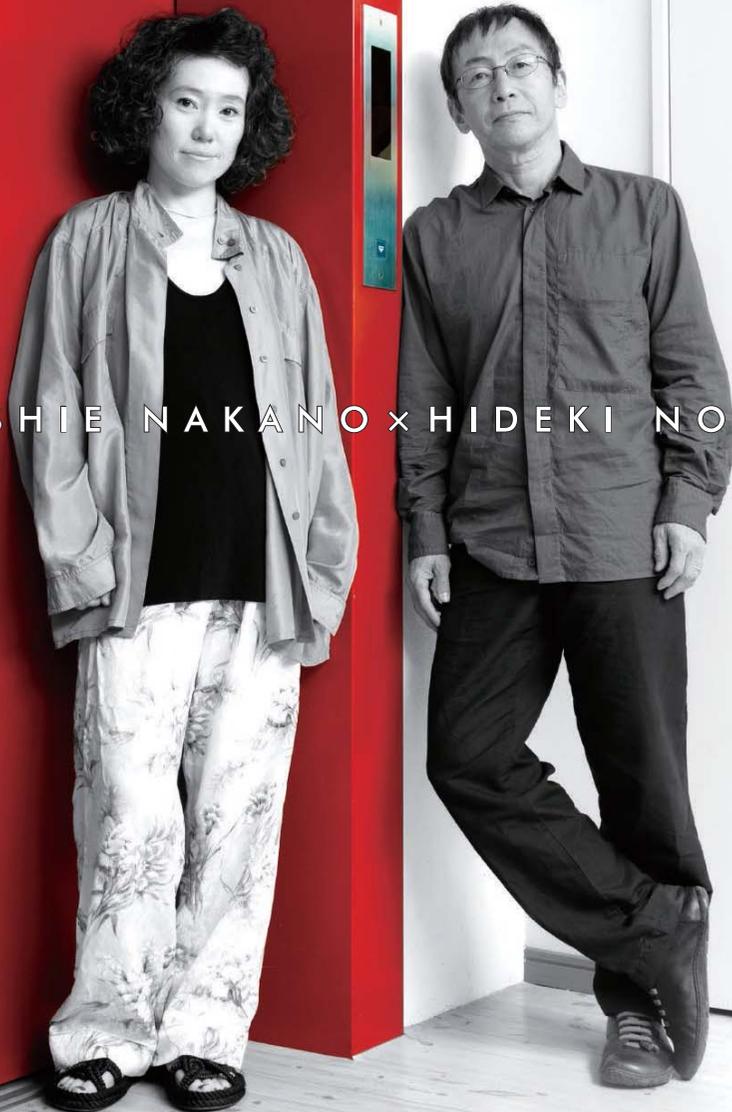


2017年3月バックステージツアーより

詳細は11月中旬までにHPなどで発表予定  
【お問合せ】東京芸術劇場 教育普及担当 03-5391-2116

野  
田  
秀  
樹

YOSHIE NAKANO × HIDEKI NODA

中  
納  
良  
恵自分が受け皿になったほうが  
自由で楽しいこと、あるんですね。

ロック、ジャズ、ブルース、歌謡曲など多彩なルーツを感じさせながら、この人が歌うと唯一無二になる——。強力なオリジナリティと抜群のパフォーマンスで人気を誇るEGO-WRAPPIN'のヴォーカリスト、中納良恵。以前から、その声と音楽性の大ファンだった野田秀樹たつての希望で対談が実現。

中納が初めて参加する、野田が総監修を務める9月の《東京キャラバン in 京都・二条城》の直前にこの対談は行われた。

自分の気に入ったものだけでは  
良い作品にならない

**野田** 良恵さんとゆっくり話すのは、実は今日が初めてなんですよね。芝居を観に来てもらっては良かったですけど、30分以上話したことはない。

**中納** 楽屋でご挨拶して雑談程度でした。

**野田** 最初にEGO-WRAPPIN'の曲を知った時のことはよく覚えているんです。1999年につくった『パンドラの鐘』という芝居の稽古中に、スタッフが「絶対に野田さんが好きな曲だよ」と『色彩のブルース』を聞かせてくれて「本当だね、ものすごくいいね」と。それから僕はずっとファンでしたけど、会えるようになったきっかけは何だったのかな？

**中納** 奥様とは古い知り合いだったんです。昔、イベントで何度かお会いしたことがあって。後々、野田さんと結婚されたと聞いて「そうなの？ すごいな」と言っていたんです。

**野田** 僕とはまだ、ここ数年のお付き合いですけど。

**中納** 舞台は以前からずっと観たいと思っていたんですけど、『逆鱗』（2015年）でようやくタイミングが合って拝見できました。もういろいろ圧倒されて、去年の『足跡姫』も見せていただいた。

**野田** 確か『逆鱗』はスカバラさん（東京スカパラダイスオーケストラ）と同じ日でしたよね。あの日の客席は異様にミュージシャン率が高かった（笑）。スカバラさんを《東京キャラバン》にお誘いしたのはそのあたりでしたけど、良恵さんにも同じ頃と言ったのかな、「こういう話があるんですけど、興味ありますか？」って。

**中納** 即答で「あります、参加したいです」と答えました。

**野田** 僕の勝手なイメージですけど、ミュージシャンはやっぱ、朝に弱いんですか？

**中納** 他の方はわかりませんが、私はすっごく弱いです。夜の間、寝たくないんですね。ずっと起きていたい。でも、人間は朝の光を浴びるのが一番健康に良いと聞いて、ここ2年くらい、ようやく調整しているところです。

**野田** 2年でそんなに変われますか（笑）。

**中納** 少しずつですけど（笑）。年齢的なことを考えると、それくらいはしようかと。

**野田** 夜の間、何をして過ごしているんですか？

**中納** 何ということではなくて、ただ音楽を聞いたりとか、あとはネットサーフィンですかね。曲作りの時期なら、歌詞を考えたりしています。

**野田** これもミュージシャンの方に聞きたかったんですけど、曲を作っている時、逃げたいかと思いませんか？

**中納** そういう時もありますけど、まあ、とりあえずやってみるという感じですね。ただ、歌詞とメロディがどうしても一致しなくて煮詰まったりすると「この曲は次にチャレンジだ」と思っ放置したり。

**野田** そういう曲は永久に世に出ない？

**中納** いや、正直、（完全に納得がいなくても）世に出てしまったものもありますね。

**野田** わかります（笑）。僕も芝居を書いて「この部分で嘘をついてしまったな」と思ったまま発表したこと、ありますから。それがどの作品のどこかは、墓場まで持って行こうと思っっていますけど。

**中納** 私も絶対に言えないですけど。

**野田** まさか『色彩のブルース』じゃないですか？

**中納** 違います（笑）。

**野田** でも世に出すと、意外にもそういう作品を褒めてくれる人がいるんですね（笑）。

**中納** いますねえ。でもやっぱり自分としては、そういう曲はライブで演奏したくないんです。それを知らない相手（EGO-WRAPPIN'のもうひとりのメンバー、森雅樹）に「今度のライブであの曲やろう」と言われて「いや、ちょっと止めておこう」と言ったりして。ただ、つくってから何年か経って、たまたまライブでやったらすごく好きになった、ということもあります。不思議ですけど。

**野田** 自分が気に入ったもの、納得のいったことだけを並べて、それが本当に良い作品になるかという、実は違うんですね。自分の作品の個性や長所は、人から指摘されて気付くことが多いじゃないですか。「ああ、そういうところが評価されるのか」と。僕の作品は昔から、言葉遊びが特徴と言われてるんですけど、自分にしてみたら駄洒落を書いていただけだし（笑）。それと、若い頃は集中して長ぜりふを言っているときと自然と目が寄ったんですが、自覚はまったくなくて、そう指摘されたことで逆に、意識して視線を寄せることで集中できるようになりました。言ってみれば、他人が喜んで褒めたりしてくれることで、自分の才能を教わる。

**中納** それ、おもしろいですね。

**野田** 良恵さんもそういうこと、ないですか？ 音楽や美術は、演劇よりもそこがはっきり形になりそうだから、自分に才能があるかどうか早め自覚できるのかと思っんですけど、歌い始めたのはいつ？

**中納** 私はそんなに早くないですよ。22歳の時です。ピアノは母が教えていたので、子供の頃から習っていましたけど。

**野田** 自分はすごいなって思っていました？

**中納** いや、全然。ピアノは駄目なんです。ただ、小さい時から歌が好きで好きで、絶対に歌手になるという気持ちはありました。

**野田** それはきっと気付いてましたね、早いうちから自分の能力に。

**中納** そういう意味では、若い時のほうが変な自信みたいなものはありませんね。歌手になりたいと言うより「絶対にになれる」みたいな。でもやればやるほど、考えることが増えていきました。「本当に自分には才能があるのかな？」とか。昔はそんなことはまったく考えなかった気がします。

**野田** そういうことを考えるようになったら、ちょっと違ってきますよね。少



# YOSHIE NAKANO

じゃないですか。テレビそのものが沈黙しちゃういけない媒体だから。でも良恵さんはわりと……。

**中納** ああ、そうですね、そんなに話さない。テレビもパッと行って、パッと歌うだけならいいんですけど。

**野田** ぜひそのままいてください(笑)。

**中納** テレビと言えば、私、まだそんなに舞台を観たことがないんですけど、ドラマではすごくいい女優さんだと思っていたのに、舞台では……

**野田** ああ、駄目な人がいる(笑)。

**中納** あれは何なんですか？

**野田** まず、声の力があると思うんです。テレビはどんなに小さな声だてマイクで拾いますから、そっちに慣れてしまうと、声そのものの力が鍛えられない。しかも最近の映像の流れとして、むしろ小さい声でボンボンと話すほうがナチュラルで、演技が上手いとされている。ナチュラルであることと演技力はまた違うんですけどね。

**中納** それはどっちがいいとかあるんですか？ そもそも演劇と映像では基礎が違うとか？

**野田** 本当に上手い人は、どっちもできます。どちらをやっても素晴らしい。大竹しのぶさんや橋爪功さん、樹木希林さんもそうですね、映像の時は映像の声の使い方ができるし、舞台上になると全く違うテンションでできる。テンションと言うのは、高いとか低いということではなくて、その役、その場所に必要なエネルギーが出せる。

**中納** 何と言えいいのかわからないんですけど、こう、エネルギーというかオーラというかが、全部から出ている感じがするんです、舞台の方って。背中とか、頭のてっぺんとか、360度から。

**野田** 最近のテレビは特に、ここ(首)から上が重視されがちかもしれませんね。舞台はむしろここ(腰)から下の世界だから。しっかり立っていない人は、せりふを聞いても説得力がないんですよ。だって、腰が引けてヘコヘコ歩くような人のせりふは聞きたくないでしょ(笑)。結構いるんですけどね、そういう俳優。

**中納** でも、舞台上で笑える人は、大抵、テレビでも映える気がします。『足跡姫』の宮沢りえさん、すごかったです。私、テレビでしか見たことなかったもので、オーラも圧倒的で……。

**野田** そう、りえちゃんも映像と舞台のどちらもやれる人ですね。いや、彼女には特別な力があります。常に自分の技術以上のことに向かっている。あそこまでの俳優は希有です。

**中納** 『逆鱗』の松たか子さんにも同じことを感じました。すごい方だなあと。

**野田** たかちゃんにもまた特別な魅力があります。あの人はとりわけ声が良い。柔らかいし、力があるし。あと育ちがいいだね。人の前に出ようとか、一切しない。僕をはじめ、普通、俳優にはそういう下卑た欲があるんです(笑)。でも観ている人は、彼女に悪さ付けられる。

**中納** 確かにそうですね。

**野田** そうそう、スカパラさんが《東京キャラバン》に参加してくれたのも、もともとは彼女が紹介してくれて『逆鱗』を観に来てくれたことがきっかけなんです。旦那さん(ギタリストでプロデューサーの佐橋佳幸)が知り合いです。彼女は去年やった《東京キャラバン》のプロログにも出てくれたし、今年は良恵さんとコラボしてくれることになりそうなので、僕は個人的に、異常なまでに興奮しているんです。

**中納** 野田さんに声をかけていただいで、私もうれしかったです。以前の映像を見させていただいたら、いろんな伝統芸能の方たちが交わってという

なくとも、無邪気ではられない。

**中納** そうですね。もう一度自信が持てたとしても、昔とは違う。野田さんはたくさん作品を書かれてきましたけど、不安とか感じられますか？

**野田** 不安の種類が変わってきました。この年齢になると、新作と言って世に出すものが、自分では新しいつもりだけど、前にも同じようなことを書いてんじゃないかと心配になります。自分は気付かないけど、誰かに「前と同じだ」と言われるんじゃないとか。

**中納** うわ、それはかなり大変ですね。

**野田** と言っても、少しずつ居るようになって来ていますが(笑)。画家だって、だいたい同じ題材を描き続けている。ひとりの人間の頭の回線って、そんなに若い頃と変えられるものでもないと思いますし。

**中納** 私は、メロディよりも言葉というもののほうが難しく、歌詞にいつも苦労するんです。だから野田さんのせりふを聞いていて、知っている言葉なのに「あ、そうか、こんなふうに使ってるのか」とびっくりすることがよくあって、そんなふうで悩んでいらしゃるとは思いませんでした。

**野田** でも歌詞は難しいですよ。僕も何回か書きましたけど、せりふとはまったく別物ですね。演劇では七五調とか気にするくせに、歌詞は完全に自由に書いて、曲をつけてくれた某ミュージシャンに「とても大変だった」と言われたことがあります(笑)。

**中納** ふふふ。言葉自体にもメロディがあるから、私の場合は曲がパーツと出来た時に、自然と一緒に付いて出て来る言葉があるんです。それをヒントにしていつも歌詞を書いているんですけど、やっぱり日々のテンションによって、付いて来る言葉が違ったりするんですよね。つまり、ブレるんです。だから1曲ずつ、もう少し自分が書くものを掘り下げないといけないなとも思っています。ただ、考え過ぎると(アウトプットの)扉が無くなってしまふから、衝動みたいなものは大事にしようとも思っていて、そのバランスが難しいです。

## 舞台の俳優さんは全身からエネルギーが出ている

**野田** EGO-WRAPPIN'さんは、テレビにはあまり出ないですよな。

**中納** 出ないですね。向いていないと思います。テレビ映えない。

**野田** いや、そういう問題じゃないんです。テレビの人違って、間を怖がる



# HIDEKI NODA

か、さまざまなジャンルが次々と繰り広げられていくのがおもしろくて、自分もぜひ立ってみたいと思いました。今までそんなことはしたことがないので、ちょっと挑戦させてもらいたいなど。

**野田** 生で、他のジャンルのものすごい人を見ると、刺激になりますよ。この間も、芸妓さん、舞妓さんの踊りや祇園祭嵐山保存会の演奏に、「Atoa」という仙台の和太鼓グループが入ったら、京都の人たちの気合いがその場でグワッと上がったのがはっきりわかりました。

**中納** 共鳴するんでしょうか。

**野田** そういうことなんです。それが《東京キャラバン》ならでは、ただ競っているんじゃない、お互いの良さを渡り合っている感じがしました。それは毎回、どの組み合わせでもありますね。

**中納** 私、あんまりインプロヴィゼーションとかしたことはないんですけど、ミュージシャンの友友良英さんが、自分から発信するんじゃないで、相手が(音などを)出しやすいように受け皿をつくることなんだとお話されていたのを聞いて、感銘を受けたというか、気付かされたんですね。それまでは、インプロとかコラボって受け合うものかなと思ってたんですけど、そう

じゃなくて、相手の受け皿になるんだと考えたら、すごくやりやすくなったことがあったんですよ。受け皿というのはきっと「押す」より「引く」というか、自分を開いていくことなんだろうなと。だから今度の《東京キャラバン》も、自分が他のジャンルの方たちと交わった時に、開いていけたらいいなと、今すごく思っているんです。

**野田** 準備としては完璧ですね(笑)。

**中納** 例えば音楽のフェスでは、言ってみれば出演者全部が対バンというか、プロモーションの場やなと思っているんです。私たちのことを全然知らない人もお客さんの中には当然いるじゃないですか。そういう人に自分たちの音楽を知ってもらう絶交のチャンスだから「今度のEGO-WRAPPIN'のライブに来ーい!」と念じながらやってます(笑)。

**野田** あはは、それ、伝わらそうですね。

**中納** 上手く伝わらない時もありますけど。そういう日はライブが終わったあと、隅っこで三角座りしています(笑)。

**野田** 僕もありますよ。客席のある場所のお客さんを観て、その反応に感づられることが。

**中納** 「途中でいなくなった!」とか。

**野田** それで1日いやーな気持ちで過ごして。

**中納** そういう時、野田さんはどうするんですか？

**野田** 時間が経つのを待つだけです。

**中納** ひとりで寝れば復活しますか？

**野田** いや、もう少しかかります。翌日の舞台をまたやって、「いや、やっぱりいいよ、この舞台は」と自分で納得し直すのが定番です(笑)。でも、もともと気にしていたことが勘違いの場合もありますよ。途中で帰ったお客さんは、実は何か事情があったとか。だからあんまり感づられちゃいけない。

**中納** 《東京キャラバン》はお客さんの層がイメージできないんですけど、でも普段とはまったく違う方たちに出会えそうで、それも楽しみです。

**野田** 『真夏の夜のジャズ』(1958年のニューボート・ジャズ・フェスティバルを収録したドキュメンタリー映画)ってあるじゃないですか。

**中納** あ、大好きです!

**野田** あの映像は最高ですよな。

**中納** 最高です!

**野田** 僕ね、あれをビデオでも買ったし、今はなきレーザーディスクも買ったし、DVDでも買って、つまりハードが変わる度に毎回購入しているくらい好きなんですけど、あの中に出てくる歌手のアニタ・オデイ、実はあれをイメージしているんです。《東京キャラバン》の良恵さん。



たし、DVDでも買って、つまりハードが変わる度に毎回購入しているくらい好きなんですけど、あの中に出てくる歌手のアニタ・オデイ、実はあれをイメージしているんです。《東京キャラバン》の良恵さん。

**中納** ええー!

**野田** それをこう、何か邦楽器との組み合わせで出来たりしないかなと。

**中納** アニタ・オデイは素晴らしいです、けど、それはちょっと、ハードルが高い、です……。

**野田** 具体的なアイデアはこれからというか、実際にやってもらわないとわからないんですけど、何となく、上手くいきそうな気がしているんですよ。それは自分でも、かなり楽しみにしていることなんです。

取材・文：徳永京子 写真：渡部孝弘

## 今回のアイタイヒト

### 中納良恵 YOSHIE NAKAO

EGO-WRAPPIN'ヴォーカリスト。1996年 中納良恵(Vo. 作詞作曲)と森雅樹(G. 作曲)によってEGO-WRAPPIN'結成。「色彩のブルース」や「くちばしにチェリー」は、多様なジャンルを消化し、エゴ独自の世界観を築きあげた名曲として異例のロングヒットとなる。2016年には結成20周年を迎え日本武道館でワンマンライブを行い、その模様を収録したLive Blu-ray/DVD「ROUTE 20 HIT THE BUDOKAN ~live at 日本武道館~」を2017年3月15日にリリースした。EGO-WRAPPIN'の活動と並行して2007年には1st Albumとなる「レレレ」を、2015年には2ndアルバム「L」を発売。モーツァルト「歌劇「フィガロの結婚」-庭師は見たい-」等、オペラの演出、海外での共同制作や、2017年8月には、9年ぶりとなる八月納涼歌舞伎「野田坂 後の楽園の下で歌舞伎の脚本、演出を手がけ、大きな反響を得る。演劇界の枠を超え国内外で精力的な創作活動を行っている。2015年よりブラジル、東北、東京都と国内の多種多様なアーティストとの文化芸術による文化ワークス「東京キャラバン」を実施。2017年9月、世界遺産「二条城」で「東京キャラバン」京都市二条城を舞台。松たか子、中納良恵ら豪華な出演者陣と新たな表現を創出し、幻想的かつオーマニエを発表。2017年11月には、十八代目中村勘三郎とのタッグで話題を呼んだ、伝説の作品「表に出ろいっ!」映画版の上巻が決定している。

### 野田秀樹 HIDEKI NODA

劇作家・演出家・役者、東京芸術劇場芸術監督、多摩美術大学教授、東京キャラバン総監督。92年に「劇団 夢の遊戯社」を解散後、ロンドンへ留学。帰国後の93年に演劇企画制作会社「NODA・MAP」を設立。以来「キル」/「ペンドラの鐘」/「THE BEES」/「ザ・キャラクター」/「エッグ」/「MWA」/「逆鱗」/「足跡姫-時代錯誤を軸盤-」など、様々な話題作を発表。モーツァルト「歌劇「フィガロの結婚」-庭師は見たい-」等、オペラの演出、海外での共同制作や、2017年8月には、9年ぶりとなる八月納涼歌舞伎「野田坂 後の楽園の下で歌舞伎の脚本、演出を手がけ、大きな反響を得る。演劇界の枠を超え国内外で精力的な創作活動を行っている。2015年よりブラジル、東北、東京都と国内の多種多様なアーティストとの文化芸術による文化ワークス「東京キャラバン」を実施。2017年9月、世界遺産「二条城」で「東京キャラバン」京都市二条城を舞台。松たか子、中納良恵ら豪華な出演者陣と新たな表現を創出し、幻想的かつオーマニエを発表。2017年11月には、十八代目中村勘三郎とのタッグで話題を呼んだ、伝説の作品「表に出ろいっ!」映画版の上巻が決定している。

作・演出：野田秀樹

特集はP1へ

## 「表に出ろいっ!」English version

“One Green Bottle” 英語上演・イヤホンガイド(日本語吹き替え)付

※吹き替えキャストに大竹しのぶ、阿部サダヲが決定!

## 東京キャラバン2017 <http://tokyocaravan.jp/>

野田秀樹が総監修する“旅する文化ムーブメント”



「わたしが悲しくないのはあなたが遠いから」



「Toky Toki Saru」



「アドベンチャーBINGO!!」

## 今年も開催、フェスティバル/トーキョー17。テーマは「新しい人 広い場所へ」

### 見どころは柴幸男の新作

『わたしが悲しくないのはあなたが遠いから』。

隣り合った2劇場シアターイースト/ウエストで、異なる視点から同時に上演。

今年で第10回をむかえるフェスティバル/トーキョー(以下F/T)は、東京で開催される国際的な舞台芸術フェスティバルとして、舞台芸術の魅力を多角的に提示してきた。今回は、「新しい人 広い場所へ」をテーマに国内外から集結する同時代の優れた作品を主催プログラムとして14演目実施。さらに、各作品に関連したトーク、展示などを展開している。

F/Tに初登場となる柴幸男は「距離」をテーマにした新作『わたしが悲しくないのはあなたが遠いから』を披露する。本作はひとつの作品を異なる視点から同時に上演する意欲的な取り組みだ。どれだけ通信や交通手段が発展しよう、遠く離れた場所で起こる事件や災害に関心をもち続けることが難しく、一方で近づけば近づくほどに分かりあうことは困難になる。様々な出来事や人と人との間にある「距離」を隣り合った2劇場シアターイースト/ウエストを使い、同時にバージョンの異なる作品で表現。東日本大震災をきっかけに生まれた「遠く離れていたとしても、他者と遠いまま出会う方法はないのか」という問いを考える。俳優たちは同じフロアで繋がった2劇場を上演中に行き来し、観客は片側の客席で様々な「距離」を想像しながら観劇することとなる。2019年開演予定の台北パフォーミングアーツセンターとの共同製作である本作には、台湾の音楽家・柯智豪(Blaire KO)、台北のファッションブランド「TRAN 泉」が、それぞれ音楽・衣装に参加し、日台のクリエイターの本格的なコラボレーションが実現する。

F/Tのオープニングを飾る野外公演は、タイのダンサー・振付家であるピチュ・クランチェンの新作『Toky Toki Saru』。国際色豊かな約40名の参加者が南池袋公園の特設野外ステージなどで、ポップな衣装をまといダンスを披露、池袋の街を彩る。東京に滞在し、本作を創作するクランチェンは、東京の機敏さ、エネルギーの象徴を「サル」とした。タイトルの「Toky Toki Saru」は、「前に進み続ける」、「素早く・賢く・集団」で生活する東京の人々の時間の意が込められている。ポップな衣装とD)による軽快なサウンドなど、その場にいる誰もが気軽に楽しめる演出となっている。

また、今回で2回目となる「まちなかパフォーマンスシリーズ」では、今年も多彩な場所で、演劇、パフォーマンスを展開する。『アドベンチャーBINGO!!』で

は、作・演出・出演の福田毅のリードと観客の選択によってゲームが進行され、福田の創作や民話、童話、都市伝説など無数にある戯曲パリエーションから、その場その時限りの物語が生まれる。ピングになった観客には福田特製の景品がプレゼントされるのも楽しみの一つだ。

池袋西口公園では、写真家である森栄喜の同性婚とそこから生まれた家族をテーマにした新作『Family Regained: The Picnic』の上映や、快快によるパフォーマンス『GORILLA ~人間とは何か~』も行われる。舞台芸術の枠にとらわれず、新たな挑戦を続けるF/Tに、今年もぜひ注目してほしい。

演劇×ダンス×美術×音楽...に出会う、  
国際舞台芸術祭 フェスティバル/トーキョー17  
9月30日(土)~11月12日(日)  
東京芸術劇場、あうるすぽっと ほか



■9月30日(土)・10月1日(日) 『Toky Toki Saru』  
コンセプト・演出:ピチュ・クランチェン 南池袋公園 ほか

■10月7日(土)~15日(日) 『わたしが悲しくないのはあなたが遠いから』  
作・演出:柴幸男 東京芸術劇場シアターイースト/シアターウエスト

#### まちなかパフォーマンスシリーズ

■11月3日(金・祝)~11月12日(日)  
『Family Regained: The Picnic』  
構成・演出・出演:森栄喜  
トーク:あうるすぽっと 会議室B 11月3日(金・祝)  
上映上映:池袋西口公園 11月4日(土)~11月12日(日) ※11月8日(水)休映

■11月12日(日) 快快『GORILLA ~人間とは何か~』  
演出:北川陽子 池袋西口公園

■10月14日(土)~11月11日(土) 『アドベンチャーBINGO!!』  
作・演出・出演:福田毅 東京芸術劇場アトリウエスト、あうるすぽっと ホワイエ

#### F/Tステーション

■10月4日(水)~10月15日(日)  
東京芸術劇場アトリイースト/ウエスト、ローワー広場  
トーク・上映会・展示など、関連企画を実施予定  
ほか多数ラインナップ

#### チケット取扱い

F/Tチケットセンター 03-5961-5209(12:00~19:00 定休日あり)  
東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296(10:00~19:00 休館日を除く)ほか

総合問合せ フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局 Tel.03-5961-5202  
http://www.festival-tokyo.jp/

2017  
9/22 FRI  
12/4 MON

すチ世界を  
るカク

東京  
芸術祭  
2017

Tokyo  
Festival  
2017

tokyo-festival.jp

ARTS COUNCIL TOKYO 東京芸術劇場 Tokyo Metropolitan Theatre TOSHIMA 東京都歴史文化財団 公財団法人としま未来文化財団 Festival/Tokyo APAF

主催:東京芸術祭組織委員会(アーツカウンシル東京・東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)、豊島区・公益財団法人としま未来文化財団、フェスティバル/トーキョー実行委員会、アジア舞台芸術祭実行委員会) 特別協賛:西武池袋本店、東武百貨店、池袋店  
お問い合わせ:東京芸術祭組織委員会事務局 〒151-0051 東京都豊島区千駄ヶ谷4-18-1 国立音楽堂内 公益社団法人 国際演劇協会日本センター受付 TEL:03-6388-0119 FAX:03-3478-7218 MAIL:info@tokyo-festival.jp

## 池袋駅直結のEchikaとEsolaのおすすめカフェでゆったりブレイク!

### Echika

エチカ池袋



スターバックスコーヒー  
TEL.03-5960-0600  
平日7:00~22:30 / 土日祝8:00~22:30

### FRESHNESS BURGER



フレッシュネスバーガー  
TEL.03-5957-5131  
平日7:00~22:00 / 土日祝8:00~22:00

### Soup Stock Tokyo



スープストックトーキョー  
TEL.03-5952-5707  
7:30~23:00(L.O.22:30)

### Patio de METRO



パティオ ドゥ メトロ  
TEL.03-6907-3150  
8:00~22:30(L.O.22:00)

Echika池袋  
東京都豊島区西池袋3-28-14(東京メトロ副都心線池袋駅南口)  
営業時間 7:30~23:00 ※店舗により異なります。  
https://www.echika-echikait.com/ikebukuro/

東京芸術劇場より、池袋西口地下通路28からすぐ!

### Esola

エソラ池袋



14 本と珈琲 泉書茶房  
2017年6月30日にオープンした新しいスタイルのカフェ。「Coffee Meets Books」をコンセプトに、思いがけない本との出会いやスペシャルティ豆をブレンドした香り高い珈琲をゆっくりと楽しんでいただくための空間をご提供します。  
116席(テラス席12席)  
TEL.03-5971-1020  
10:30~22:00(L.O.21:30)

### GORILLA COFFEE



GORILLA COFFEE  
TEL.03-5957-0893  
8:30~22:00

Esola池袋  
東京都豊島区西池袋1-12-1(東京メトロ有楽町線池袋駅南口)  
営業時間 [ショップ]10:30~21:30 / [レストラン]11:00~23:00 ※店舗により異なります。  
http://www.esola-ikebukuro.com/

東京芸術劇場より、西口公園から池袋駅3番口に向かって正面!

## INFORMATION

鑑賞サポート | 目や耳の不自由な方を対象に、舞台・公演説明会、字幕機提供サービス(対象日限定・無料・要事前申込)等を実施しています。詳細は事業ごとに異なります。

10~12月 対象公演 ナイトタイム・パイプオルガンコンサートVol.20 『リチャード三世』  
ランチタイム・パイプオルガンコンサート Vol.123 『表に出るいっ!』English version "One Green Bottle"

【お問合せ】東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

